

朝鮮亞局

第二課

昭和五年三月廿七日接獲

機密公第八四二號

昭和五年十二月十日



別紙添附

機密簿記



記

在吉林  
總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

朝鮮革命軍司令部組織ニ関スル件

長春吉林哈爾濱、各方面出没シ巧ニ行動シ居ル不  
逞鮮人李鍾洛カ今般朝鮮革命軍司令部ヲ組織シ其  
部署ヲ定メタル狀況ニ関シ別記ノ通り報告申進ス  
(十一月二十六日附拙信機密公第八一五號末段参照)  
本信寫送付先 奉天、ハルビン、長春、朝鮮總督、関東長官

BII

朝鮮革命軍吉江省指揮部首領李鍾洛カ十一月十六日  
根據地卡倫ヨリ入吉シ更ニ全月十九日鐵路哈爾濱ニ  
赴キ同志ト密會シ朝鮮革命軍司令部ヲ組織ス、ノ副  
策シ居タル件ニ関シテハ既報土月十六日付機密公第八一五號報告シ置  
キタル處ナルカ全月二十五日哈爾濱市内露西亞人  
經營旅館ニ李鍾洛、金光烈、朴振、張素峰其他數名ノ同  
志密會シ從來、朝鮮革命軍吉江省指揮部ハ組織ト  
同時ニ全中國ノ階級的統一的紅軍機關ニ編成セラ  
ルル時機迄之レヲ支持スル趣旨ノ宣言書ヲ發表シ  
既ニ世間ニ中國共產党ト連絡アルニトヲ認識セラ  
レ從テ支那官憲ノ取締嚴重トナリタルヲ以テ該朝  
鮮革命軍吉江省指揮部ナル名稱ハ之レヲ廢止シ支  
那官憲ノ取締ヲ緩和スル為メ表面民族團體ナルカ

I-0854

如ク装フニ如スト為シ更ニ朝鮮革命軍司令部ヲ  
組織シタルカ其ノ内容ハ左記ノ通りニシテ裏面  
ハ依然中國共產黨ト連絡ヲ取リ之レニ参加ス、ク  
運動スルコトトナレリ

記

一、名称、朝鮮革命軍司令部  
一、部署

革命軍司令長 李鍾洛

軍事部委員 金光烈、安鵬

政治部委員 張素峰、朴振

參謀部委員 安鵬

一、軍隊編成 (軍隊ハ總テ奇數ノ順ニテ編成ス)

(1) 現役特務隊 (四個隊)

第一隊長 李宇 奉天地方

第三隊長 金根元 長春地方

第五隊長 朴炳華 吉林地方  
第七隊長 崔得亨 哈爾濱地方

(隊員ハ三名以上十名トス)

(2) 在郷軍常備隊 (五個隊)

第九隊、第十一隊 伊通縣孤榆樹地方

第十三隊、第十五隊 懷德縣五家子地方

第十七隊 長春縣(吉長沿線)卡倫地方

(在郷常備隊ハ未編成)

一、毎年一回軍事議會ヲ召集シテ諸般方針ヲ決議シ任員ノ  
選舉ヲ行フコトトス

一、急速ナル期間内ニ諸般準備ヲ整へ大々的軍資  
金調達ニ着手スルコト

大体前記ノ如ク決定シタルヲ以テ李鍾洛、金光烈ノ  
兩名ハ相携へ本月一日哈爾濱ヲ出發シテ伊通縣孤  
榆樹ニ引揚ケ朴振、崔得亨等モ相前後シテ卡倫ニ引

BII

BII

揚タリ尚李鍾洛カ哈爾賓ニ於テ支那官憲ニ速捕  
セラレタルモ贈賄ニ依リ釋放セラレタリトノ情  
報アリタルモ斯ノ如キ事實認めラレズ

BII

5.12.19

記録

照  
録  
部

第二課

昭和五年三月廿七日接

機密公第八四三號

別紙添附

昭和五年十二月十日

在吉林

總領事

石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

不逞鮮人吳成崙ノ動靜ニ関スル件

本件ニ関シ謀知シタル所別記ノ通り報告申進ス

本信写送付先

北平 上海 哈爾賓 長春  
朝鮮總督 關東長官

I-0854